



6月の学級づくり【小学校版】

6月は、行事や体験的な活動が行われる、あるいは行事の準備を始める月です。

この行事や活動を学級づくりに活かせるかどうかが重要です。自分の学級の実態に合う目標を、具体的に評価できるものにするのが大切です。また、普段見えない、その子のよさを見いだすチャンスです。

友達、クラスのよさを感じ合おう、見つけ合おう

自分ではなかなか気がつかない自分の「いいところ」を、友だち同士で見つけ合う活動を紹介します。きっと、ふだん気づかない「いいところ」が見つかります。それを発表し合うととても楽しい活動になります。

<方法>

生活グループごとに集まる。

カードの一番下に自分の名前（例：よしお）を書く。

隣の人に、自分のカードを渡す。

カードを受け取った人は、一日の生活をふり返って、よしおさんのいいところを書く。

書いたら、内容が隠れるようにカードを折り曲げ、次の人に渡し、渡された人はよしおさんのいいところを書く。

これを、カードの持ち主（よしおさん）のところに返るまで繰り返す。

自分のカードが戻ってきたら、その紙を開いて黙って読む。

読んでみての感想、今の気持ちなどを発表し合う。

できるだけ具体的に書けるようにして、継続的に行いましょう。「人権教育指導資料集～一緒にいこう～より」

学級で花を育てる、野菜を作る活動での工夫を

ねがいと活動のイメージを明確に

・「玄関を花で飾りたい」「おいしく食べたい」等、ねがいははっきりさせ、喜んでくれる人の気持ちを予想したり、事前に野菜を味わったりする活動を位置付けましょう。

・一人一人が意欲と責任感をもって取り組めるように、グループごとに花壇や畑の場所を決めたり、当番活動の内容や順番を工夫したりしてみましょう。

子どもたちが自ら取り組む活動に

・きれいな花壇を作ること、野菜を収穫することのみが目的になり、教師が管理することにならないよう、短学活で活動を振り返りましょう。

・黙々と作業をする子、ていねいな片付けをする子、一人でいる子を誘って活動する子等、子どものよさを見つけ、学級づくりにつなげましょう。

音楽会・運動会がエンカウンター！？ 行事で子どもの伸びを認め合う

6月に学校行事を設定している小学校も多いのではないのでしょうか。そこで、行事そのものをエンカウンターの視点でとらえます。

インストラクション（行事前）

「行事を通して友だちのいいところ、すごいところを見つけよう」（いいところ：友達のすごいと思ったところ、友達が助けてくれたところほか）

エクササイズ（行事そのもの）

シェアリング（振り返り）

「自分がみつけた友だちのいいところ、すごいところを発表してみよう」

教師自身が児童のよいところを記録し、累積しておくことも大切です。行事を一過性のものに終わらせず、学級づくりの最大のチャンスとしてとらえましょう！

支援が必要な子どもの「つまずき」を支援するポイント

～予定変更の受け入れが難しい児童～

予定が変更されると活動の見通しがもちにくいですか？

急な予定変更は、個別に説明してみても？

時間割変更の場合、事前予告してみても？

時間割の変更などは、視覚的に確認できるように変更後の時間割を明示してみましょう。

クールダウンする場所と時間の確保を。

口頭による説明だけでは、活動のイメージがもちにくいですか？

文字や図、絵を使用して、活動内容を視覚的に伝えてみる？

新たな活動では、手順を箇条書きで。

いつも確認できるように予定の変更や活動の手順を児童がノートに書く機会を。